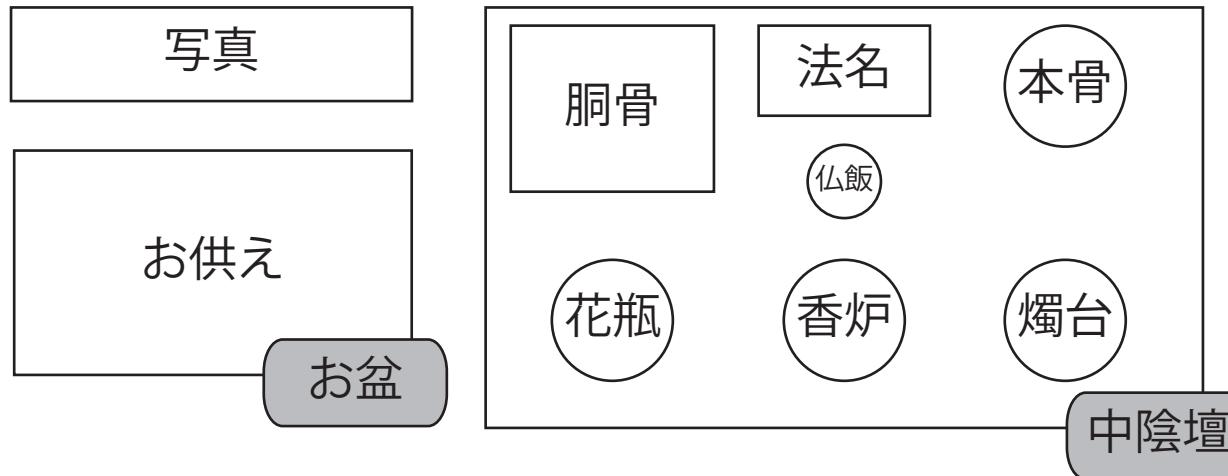


中陰壇のお莊厳の仕方（参考例）

仏壇（お内仏）



* 中陰壇は、お仏壇の横（左右）または正面に設置してください。

* 葬儀社が用意される仏具は他宗派のものも含まれています。浄土真宗の莊嚴では使用しないものがあります。

（例・使用しないもの／お茶・お水・巻線香・灯籠等）

* 中陰壇の花は桜・青葉が原則ですが、色花を使用する場合は白・黄色の菊の花を用いてください。

* 仏壇の花も中陰中は原則中陰壇と同じです。

* 蟻燭・線香は、拝礼・勤行の時に燃じてください。特に火の元になりますので、その場を離れる時は消灯してください。

* 灯明（蠅燭）をつけ続ける場合は、電気の灯明を代用してください。線香はつけ続ける必要はありません。

* お供え物がある場合はお盆等にのせて中陰壇の横に置いてください。

* 写真は中陰壇の横に置いてください。

* 仏壇には白の打敷をかけてください。（白の打敷が無い場合は、裏返して使用してください。）

* 仮飯は仏壇と中陰壇両方にお供えしてください。

* 中陰中の七日参りの際、焼香をしますので、別に香炉・お香・香炭をご用意ください。

* 参考例ですので、詳細・お問合せはお寺へご相談ください。

